

Antenna House PDF Tool API V5.0

コマンドライン説明書

サンプル

Antenna House, Inc.

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 目次..... | 1 |
| 1. コマンドラインについて..... | 2 |
| 2. 動作環境..... | 2 |
| 3. コマンドラインの実行に必要なファイル..... | 3 |
| 3.1. Windows 版..... | 3 |
| 3.2. Linux 版..... | 3 |
| 4. コマンドラインの使い方..... | 4 |
| 4.1. Windows 版..... | 4 |
| 4.2. Linux 版..... | 4 |
| 5. コマンドラインの仕様..... | 5 |
| 5.1. 入出力ファイルの指定方法..... | 5 |
| 5.2. コマンドの種類..... | 5 |
| 5.3. 各コマンドのパラメータ..... | 5 |
| 5.3.1. -getFileInfo..... | 5 |
| 5.3.2. -changeDocInfo..... | 6 |
| 5.3.3. -changeViewInfo..... | 6 |
| 5.3.4. -mergeFiles..... | 7 |
| 5.3.5. -getOutlineInfo..... | 7 |
| 5.3.6. -getAnnotInfo..... | 7 |
| 5.3.7. -setPdfWatermark..... | 7 |
| 5.3.8. -setImageWatermark..... | 8 |
| 5.3.9. -setTextWatermark..... | 9 |
| 5.3.10. -setColorWatermark..... | 10 |
| 5.3.11. -encrypt..... | 10 |
| 5.3.12. -decrypt..... | 11 |
| 5.3.13. -optimize..... | 11 |
| 5.4. エラー処理について..... | 13 |
| 5.4.1. コマンドラインの戻り値 (Windows)..... | 13 |
| 5.4.2. コマンドラインの戻り値 (Linux)..... | 13 |
| 5.4.3. エラーの内容について..... | 13 |

1. コマンドラインについて

Antenna House PDF Tool API V5.0 (PDF Tool API V5.0) のコマンドラインは、PDF Tool API V5.0 の C++インターフェースを使用して作成されたコンソール型アプリケーションです。PDF Tool API V5.0 については、「AHPDFToolAPI_V5_Manual.pdf」もあわせてご参考ください。

※コマンドライン仕様は、PDF Tool API V5.0 のすべての仕様を網羅するものではありません。

2. 動作環境

| | |
|---------|--|
| Windows | Microsoft Windows 10 ※1 / 8.1 ※2 / 8 ※2 / 7 ※3 (32bit/64bit) 日本語版 Microsoft Windows Server 2012R2 / 2012 / 2008R2 / 2008 (32bit/64bit) 日本語版 Microsoft Visual Studio 2010 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネント ※4 |
| Linux | コマンドラインは GCC4.1 でビルドされています。 |

※1 Windows 10 の対応エディションは、Home / Pro / Enterprise / Education

※2 Windows 8.1 / 8 の対応エディションは、Pro / Enterprise

※3 Windows 7 の対応エディションは、Home Premium / Professional / Enterprise / Home Basic / Starter / Ultimate

※4 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネントは、32bit 版 API を使用する場合は x86 用、64bit 版 API を使用する場合は x64 用のコンポーネントが必要です。

Antenna House, Inc.

3. コマンドラインの実行に必要なファイル

3.1. Windows 版

| メインモジュール | メインモジュールと依存関係にあるモジュールファイル |
|--------------------|--|
| AHPDFToolCmd50.exe | PdfTk50.dll AHCommon13.dll AHDMC13.dll AHFontService12.dll AHGraphicService10.dll AHPDFEditLib10.dll AHPDFLib20.dll icudt52.dll icuin52.dll icui52.dll icui52.dll icule52.dll iculx52.dll icutu52.dll icuc52.dll PDFLinearizer60.dll PdfTkEx50.dll |

サンプル

3.2. Linux 版

インストーラにより、コマンドラインの実行に必要なファイルとコマンドを実行するためのシェルスクリプトがインストールされます。

Antenna House, Inc.

インストールフォルダ --- run.sh (AHPDFToolCmd50 を実行するシェルスクリプト)
|-- ToolCmd フォルダ --- AHPDFToolCmd50 (コマンド実行)
|-- lib フォルダ (PDF Tool API バイナリファイル)

4. コマンドラインの使い方

4.1. Windows 版

コマンドラインアプリケーションは、次のような引数をとります。

```
AHPDFToolCmd50.exe [コマンド] [パラメータ] -d (入力ファイルパス) -o (出力ファイルパス)
```

パラメータを持つコマンドの場合、「コマンド」指定後に必ず「パラメータ」を指定してください。

4.2. Linux 版

インストーラにより、コマンドアプリケーションを実行するシェルスクリプトがインストールされます。

```
sh run.sh [コマンド] [パラメータ] -d (入力ファイルパス) -o (出力ファイルパス)
```

パラメータを持つコマンドの場合、「コマンド」指定後に必ず「パラメータ」を指定してください。

サンプル

Antenna House, Inc.

5. コマンドラインの仕様

5.1. 入出力ファイルの指定方法

| | コマンド | 内容 |
|--------|--------------------------|---|
| 入力ファイル | -d (ファイルパス) [パスワード] | 処理対象となる PDF ファイルパスを指定します。パスワード文字列を指定すると、セキュリティ付き PDF に対しても処理が可能です。 例) -d c:¥test¥test.pdf ownerpass |
| 出力ファイル | -o (ファイルパス) [-linearize] | 保存先となる PDF ファイルパスを指定します。「-linearize」オプションを付けた場合は、リニアライズ保存 (Web 表示用に最適化) されます。 例) -o c:¥test¥out.pdf -linearize |

5.2. コマンドの種類

| コマンド | 内容 |
|------------------------------------|--|
| -getFileInfo | 文書プロパティ情報、開き方情報、セキュリティの有無を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。 |
| -changeDocInfo | 文書プロパティ情報を設定します。 |
| -changeViewInfo | 開き方を設定します。 |
| -mergeFiles | 複数の PDF ファイルをひとつのファイルに結合します。 |
| -getOutlineInfo | しおり情報を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。 |
| -getAnnotInfo | 注釈 (ノート、リンク、スタンプ、ファイル添付) 情報を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。 |
| -setPdfWatermark | PDF ファイルを透かしとして挿入します。 |
| -setImageWatermark | 画像ファイルを透かしとして挿入します。 |
| -setTextWatermark | 文字列を透かしとして挿入します。 |
| -setColorWatermark | 色の透かしを挿入します。 |
| -encrypt | セキュリティを設定します。 |
| -decrypt | セキュリティを削除します。 |
| -optimize | PDF を最適化します。 |

5.3. 各コマンドのパラメータ

5.3.1. -getFileInfo

| パラメータ | 内容 |
|--------------|----|
| パラメータはありません。 | |

コマンド設定例

| |
|----------------------------------|
| -getFileInfo -d c:¥test¥test.pdf |
|----------------------------------|

5.3.2. -changeDocInfo

| パラメータ | 内容 |
|---------------|---------------|
| -title Val | 「タイトル」の設定 |
| -subject Val | 「サブタイトル」の設定 |
| -author Val | 「作成者」の設定 |
| -keywords Val | 「キーワード」の設定 |
| -creator Val | 「アプリケーション」の設定 |
| -producer Val | 「PDF 変換」の設定 |

パラメータ設定例

```
-changeDocInfo -title "PDF Tool API テスト" -author アンテナハウス株式会社
```

5.3.3. -changeViewInfo

| パラメータ | 内容 |
|---------------------|--|
| -direction Val | 読み上げオプション（綴じ方）の設定 1: 左から右（左綴じ） 2: 右から左（右綴じ） |
| -pageLayout Val | ページレイアウトの設定 1: 単一ページ 2: 連続ページ 3: 連続見開きページ 4: 連続見開きページ（表紙） 5: 見開きページ 6: 見開きページ（表紙） |
| -pageMode Val | 表示状態の設定 1: ページのみ 2: しおりパネルとページ 3: ページパネルとページ 5: レイヤーパネルとページ 6: 添付ファイルパネルとページ |
| -fitWindow Val | ページにウィンドウサイズを合わせる true: 合わせる false: 合わせない |
| -centerWindow Val | ウィンドウを画面中央に配置 true: 配置する false: 配置しない |
| -fullScreen Val | フルスクリーンモードで開く true: フルスクリーンで開く false: フルスクリーンでは開かない |
| -displayTitle Val | ウィンドウのタイトルバーに文書プロパティの「タイトル」を表示する true: 表示する false: 表示しない |
| -hideToolBar Val | ツールバーを非表示 true: 非表示 false: 表示 |
| -hideMenuBar Val ※ | メニューバーを非表示 true: 非表示 false: 表示 |
| -hideWindowUI Val ※ | ウィンドウコントロールを非表示 true: 非表示 false: 表示 |

※「-hideMenuBar true - hideWindowUI true」を設定した PDF ファイルを Acrobat/Adobe Reader で表示した場合、メニューバーは表示されません。

パラメータ設定例

```
-changeViewInfo -pageLayout 2 -pageMode 3 -displayTitle true -hideToolBar true
```

5.3.4. -mergeFiles

| パラメータ | 内容 |
|--------------|----|
| パラメータはありません。 | |

コマンド設定例

```
-mergeFiles -d c:%test%test1.pdf -d c:%test%test2.pdf userpass -o c:%sav%out.pdf -linearize
```

5.3.5. -getOutlineInfo

| パラメータ | 内容 |
|--------------|----|
| パラメータはありません。 | |

コマンド設定例

```
-getOutlineInfo -d c:%test%test.pdf userpass
```

5.3.6. -getAnnotInfo

| パラメータ | 内容 |
|--------------|----|
| パラメータはありません。 | |

コマンド設定例

```
-getAnnotInfo -d c:%test%test.pdf
```

5.3.7. -setPdfWatermark

| パラメータ | 内容 |
|-------------------------------|---|
| -pdfPath [パスワード] | 透かしにする PDF ファイルパスの指定 |
| -scale Val | 挿入する透かしの倍率 (範囲 : 0.0~50.0) |
| -rect left bottom right top | 透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位) |
| -margin top left bottom right | 透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位) |
| -align Val | 透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下 |
| -zorder Val | 透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面 |
| -pageRange Val | 透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ |

| | |
|----------------------|--|
| -pageRangeCustom Val | 透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3~5 ページに挿入される。 |
| -notInFirst | 先頭ページには透かしを挿入しない |
| -notInLast | 最終ページには透かしを挿入しない |
| -notDisplay | 透かしを表示しない |
| -notPrint | 透かしを印刷対象としない |
| -opacity Val | 透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0~1.0) |
| -tiling | タイリング挿入 |

パラメータ設定例

| |
|--|
| -setPdfWatermark -pdfPath c:%test%mark.pdf -scale 0.5 -opacity 0.7 |
|--|

5.3.8. -setImageWatermark

| パラメータ | 内容 |
|-------------------------------|--|
| -imagePath | 透かしにする画像ファイルパスの指定。 対応形式 : bitmap、jpeg、png、tiff、gif |
| -scale Val | 挿入する透かしの倍率 (範囲 : 0.0~50.0) |
| -rect left bottom right top | 透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位) |
| -margin top left bottom right | 透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位) |
| -align Val | 透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下 |
| -zorder Val | 透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面 |
| -pageRange Val | 透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ |
| -pageRangeCustom Val | 透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3~5 ページに挿入される。 |
| -notInFirst | 先頭ページには透かしを挿入しない |
| -notInLast | 最終ページには透かしを挿入しない |
| -notDisplay | 透かしを表示しない |
| -notPrint | 透かしを印刷対象としない |
| -opacity Val | 透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0~1.0) |
| -tiling | タイリング挿入 |

パラメータ設定例

| |
|--|
| -setImageWatermark -imagePath c:%test%mark.bmp -scale 2.0 -pageRange 5 -pageRangeCustom "0,3,10-12" -opacity 0.8 -tiling |
|--|

5.3.9. -setTextWatermark

| パラメータ | 内容 |
|-------------------------------|--|
| -text Val | 透かしとして挿入する文字列の設定 |
| -colorText r g b | 文字の塗りつぶし色の設定(範囲:r,g,b それぞれ0.0~1.0) |
| -colorOutline r g b | 文字の輪郭の色の設定 (範囲 : r,g,b それぞれ0.0~1.0) |
| -diagonal | 透かしをページの対角線上に挿入する |
| -angle Val | 透かしの挿入角度の設定 |
| -rect left bottom right top | 透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位) |
| -margin top left bottom right | 透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位) |
| -align Val | 透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下 |
| -zorder Val | 透かしのZオーダーの設定 1: 前面 2: 背面 |
| -pageRange Val | 透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ |
| -pageRangeCustom Val | 透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3~5 ページに挿入される。 |
| -notInFirst | 先頭ページには透かしを挿入しない |
| -notInLast | 最終ページには透かしを挿入しない |
| -notDisplay | 透かしを表示しない |
| -notPrint | 透かしを印刷対象としない |
| -opacity Val | 透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0~1.0) |
| -tiling | タイリング挿入 |
| -font | 透かし文字列のフォント設定 |
| -name Val | フォント名 |
| -size Val | フォントサイズ (point 単位) |
| -weight Val | 太さ (有効値 : 200,300,400,500,600,700,800,900) |
| -italic | 斜体 |
| -embed Val | フォント埋め込み true: 埋め込む false: 埋め込まない |

パラメータ設定例

```
-setTextWatermark -text "PDF Tool API V4.0 テスト" -colorText 1 0 0 -colorOutline 0 0 1 -angle 20 -align 5 -opacity 0.9 -font -name メイリオ -size 52
```

5.3.10. -setColorWatermark

| パラメータ | 内容 |
|-------------------------------|--|
| -color r g b | 挿入する色の設定 (範囲 : r,g,b それぞれ 0.0~1.0) |
| -rect left bottom right top | 透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位) |
| -margin top left bottom right | 透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位) |
| -zorder Val | 透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面 |
| -pageRange Val | 透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ |
| -pageRangeCustom Val | 透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3~5 ページに挿入される。 |
| -notInFirst | 先頭ページには透かしを挿入しない |
| -notInLast | 最終ページには透かしを挿入しない |
| -notDisplay | 透かしを表示しない |
| -notPrint | 透かしを印刷対象としない |
| -opacity Val | 透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0~1.0) |

パラメータ設定例

```
-setColorWatermark -color 0 1 0 -notInFirst -notPrint -opacity 0.7
```

5.3.11. -encrypt

| パラメータ | 内容 |
|-----------------|---|
| -userPass Val | 文書を開くパスワードの設定 |
| -ownerPass Val | 権限パスワードの設定 |
| -filterType Val | 暗号化レベルの設定 1: 40bit RC4 2: 128bit RC4 3: 128bit AES 4: 256bit AES |
| -perms i | 「-filterType = 1」(40bit RC4) の場合のセキュリティ設定 |
| -print Val | 印刷 0: 許可しない 2: 許可 |
| -modify Val | 文書の編集 0: 許可しない 1: 注釈の作成、フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 2: フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 3: ページの抽出を除くすべての操作 |
| -copy Val | 内容のコピー true: 許可 false: 不許可 |

| | | |
|---------|-----------------------------------|--|
| -perms2 | 「-filterType = 2/3/4」の場合のセキュリティ設定 | |
| | -print Val | 印刷 0: 許可しない 1: 低解像度 2: 高解像度 |
| | -modify Val | 文書の編集 0: 許可しない 1: ページの挿入、削除、回転 2: フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 3: 注釈の作成、フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 4: ページの抽出を除くすべての操作 |
| | -copy Val | 内容のコピー true: 許可 false: 不許可 |
| | -accessibility Val | スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを有効にする true: 有効 false: 無効 |

パラメータ設定例

```
-encrypt -ownerPass pass123 -filterType 4 -perms2 -print 0 -modify 1 -copy false
```

サンプル

5.3.12. -decrypt

| パラメータ | 内容 |
|--------------|----|
| パラメータはありません。 | |

コマンド設定例

```
-decrypt -d c:¥test¥test.pdf ownerpass123 -o c:¥test¥out.pdf
```

Antenna House, Inc.

5.3.13. -optimize

| パラメータ | 内容 |
|-----------------------|--|
| -optimizeImage Val | 画像のダウンサンプリング処理 true: する false: しない ダウンサンプリングは次の設定で行われます。 ・バイキュービック法 ・カラー/グレースケール: 解像度が 225dpi 以上の場合 150dpi まで縮小する ・白黒: 解像度が 450dpi 以上の場合 300dpi まで縮小する |
| -removeOpenAction Val | 開き方設定の削除 true: する false: しない |
| -removeOutlines Val | しおりの削除 true: する false: しない |

| | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| -removeAnnots Val | 注釈の削除 true : する false : しない |
| -removeArticles Val | アートの削除 true : する false : しない |
| -removeThumbnails Val | サムネイルの削除 true : する false : しない |

コマンド設定例

| |
|---|
| -optimize -optimizelImage true -removeAnnots true |
|---|

サンプル

Antenna House, Inc.

5.4. エラー処理について

5.4.1. コマンドラインの戻り値 (Windows)

| | 戻り値 |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 成功 | 0 |
| パラメータエラー | -1 |
| PdfTk (PDF Tool API の内部ライブラリ) のエラー | PdfTk のエラーコード (PtlErrorCode.h 参照) |
| その他のエラー | -2 |

5.4.2. コマンドラインの戻り値 (Linux)

| | 戻り値 |
|-----|-----|
| 成功 | 0 |
| エラー | 1 |

5.4.3. エラーの内容について

コマンドラインの実行中にエラーが発生した場合は、標準出力にエラー内容を示すメッセージ文字列が出力されます。

サンプル

Antenna House, Inc.

履歴

| 日付 | | 修正内容 |
|------------|---------------|--|
| 2016.03.15 | 改訂 2 (MR2) | ・「5.3.13.-optimize」のコマンド設定例を訂正しました。 |
| 2015.12.18 | 改訂 1 (MR1) | ・「2.動作環境」に Linux を追加しました。 ・「3.コマンドラインの実行に必要なファイル」に「3.2.Linux 版」を追加しました。 ・「4.コマンドラインの使い方」に「4.2.Linux 版」を追加しました。 ・「5.4.エラー処理について」に「5.4.2.コマンドラインの戻り値 (Linux)」を追加しました。 |

サンプル

Antenna House, Inc.

サンプル 

Antenna House, Inc.